

## ふるさと教育 取組事例

学校名	大田市立第三中学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
1, 2, 3	総合的な学習 の時間	窯芸活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の窯業技術家</li> <li>・地域の園芸ボランティア</li> <li>・地域のボランティア</li> <li>・まちづくりセンター</li> <li>・登窯</li> <li>・瓦メーカーの粘土</li> </ul>
ねらい		<p>○校区内の水上町は良質な陶土の産地であり、瓦産業が地場産業となっている。窯芸活動を通して、窯業の歴史や製造工程について理解を深める。</p> <p>○窯芸活動を通して陶器に親しみ、体験を通して物を作り上げることの喜びと達成感を味わう。</p>	
<p>1 取組の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 窯芸教室での焼き物作り (6月)</li> <li>○ 素焼き合宿 (8月)</li> <li>○ 釉薬塗り (9月)</li> <li>○ 本焼き合宿 (9月)</li> </ul> <p>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。</p> <p style="padding-left: 20px;">(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ふるさとへの理解を深めるために、地元講師の招聘や地元の粘土の使用。</li> <li>○ ものづくりの喜びと達成感を味わうための登り窯を利用した合宿の実施。</li> <li>○ 地域住民に贈られる「苔玉」作りの技術習得と、受け皿の制作。</li> </ul> <p style="padding-left: 20px;">(学力育成の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 焼成に関連し、化学反応への興味・関心を高める</li> <li>○ 作品作りに関連し、生活に役立つ陶器をデザインする力を養う</li> </ul> <p>3 児童・生徒に見られた変容 (どのような力が身に付いたか等)</p> <p style="padding-left: 20px;">(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地元が誇る窯業についての理解が高まり、誇りをもつことができた。</li> <li>○ 焼き物が実際に「苔玉」の受け皿として活用されることを、講師の指導のもと、体感できた。</li> </ul> <p style="padding-left: 20px;">(学力育成の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生活に役立つ陶器を、様々な図書資料等を利用してデザインする力がついた。</li> <li>○ 酸化・還元など、焼成に関わる科学的な知識をふるさとの伝統産業から得ることができた。</li> </ul> <p>4 課題や今後の展望</p> <p>昨年度より窯芸合宿時のボランティアを募集している。本年度は、3名の方の参加を得、夏場の大変な作業である窯入れにご協力いただいた。学校だけではなく、地域の貴重な財産でもある登り窯。この窯を活用した窯芸活動について、地域の力を今後も活用し持続可能な教育活動としていきたい。</p>			



・講師による焼き物制作の授業



・ボランティアによる窯入れ補助



・窯芸合宿深夜の風景



・焼成に関連した化学実験用のプレート（一部）



文化祭における作品展示



地域の方による苔玉作りの指導と受け皿の贈呈